



「ポイ捨て禁止」を訴えるポスターを6作品作りました

11月7日

ポイ捨て禁止 白糠高校生がポスター作成

白糠高校の3年生は、海をきれいにしてほしいと「ポイ捨て禁止」を訴えるポスターを6枚作りました。この日、代表生徒8人が採用作品1枚を選んでもらうため、白糠漁業協同組合を訪れ、職員や組合員にポスターの特長を説明しました。審査した漁協女性部の加藤美紀部長は「どれも素晴らしい」と高評価。ポスターはすべて採用となり、漁協等に展示されました。

11月5日

天の恵みと先人に感謝 第44回ししやも祭

アイヌ伝承儀式「第44回ししやも祭」がウレシパチセと茶路川河畔広場で行われました。関係者や来賓など約60人が参列。カムイノミ（火の神への祈り）や白糠アイヌ文化保存会によるアトウソ・リムセ（海の舞）、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会のサルルンカムイ（鶴の舞）といった古式舞踊などで天の恵みと先人に感謝の気持ちを捧げました。



ウレシパチセで行われたカムイノミ



奥山隆顧問が乾杯。参加者は料理やふるさとの話題を楽しみました

11月4日

白糠の思い出を語り合う 札幌しらぬかふるさと会総会

「札幌しらぬかふるさと会（荒政光会長）」の総会とふるさとを語る集いが札幌市内のホテルで開かれ、会員や来賓など約50人がふるさとの思い出話に花を咲かせました。9月末現在の会員数は218人。ふるさとを語る集いでは、白糠漁協から提供されたシシヤモを味わいながら、ビンゴゲームなどを楽しみ親睦を深めました。

11月3日

芸術の秋を彩る バイオリン&ピアノ名曲コンサート

バイオリニストの和光憂人さんと、ピアニストの長尾崇人さんによる「バイオリン&ピアノ名曲コンサート」が社会福祉センターで開催されました。コンサートでは、音楽ユニットY O A S O B Iの曲「アイドル」や作曲家・アザラシヴィリの名曲「無言歌」など、アンコール曲を含む全13曲を披露。来場した約80人は二人の息の合った演奏に感動していました。



バイオリニストの和光さん（左）とピアニストの長尾さん（右）



来場者が田中理事長へ鍛高ラムネをプレゼントする場面も



田中理事長（左）と松浦教諭（右）がトークセッション形式で講演

11月9日

田中学園の田中賢介理事長講演 町PTA連合会研究大会・子育てセミナー

白糠町PTA連合会の「研究大会・子育てセミナー」が白糠学園体育館で開かれ、北海道日本ハムファイターズスペシャルアドバイザーで学校法人田中学園の田中賢介理事長と同園立命館慶祥小学校の松浦靖高教諭が「失敗してもいいんです！ー元プロ野球選手の挑戦ー」と題して講演しました。田中理事長は「父親から一つのことをやり続けなさい」と言われ、小学4年生のときから6年間、毎朝2km走り続けたことを話し、「プロ野球の一流選手に共通していることは、諦めずにやり続けることができる人」と強調し、「何か一つのことをやり続けてほしい」と呼び掛けました。また、自身がメジャーリーグへ挑戦したときのことを話し、「野球で失敗をすると、日本では“ドンマイ（気にするな）”と言われて落ち込みますが、アメリカだと“ナイストライ（よく挑戦した）”と言われます。でも挑戦しなければ“なぜトライしないんだ”と怒られます。言葉一つですが、この差は大きい」と話し、松浦教諭は「失敗しても良いと思えると、勇気をもって挑戦できますね」と話していました。



駅伝競走大会。スタートの合図で一斉に走り出す選手たち

11月5日

20チームのランナーが町内を駆ける 白糠町駅伝競走大会

スポーツ協会主催の「第32回白糠釧勝峠駅伝大会」と「第49回白糠町駅伝競走大会」が国道392号をコースに開催されました。両大会には20チームが参加。白糠釧勝峠駅伝大会（5区間・40km）は白糠学園Aが2時間10分31秒、白糠町駅伝競走大会（5区間・9.5km）は中学・高校一般の部で「よいしょー！おびちく」が33分32秒の大会新記録で優勝しました。

11月4日

3組のバンドが出演 ウィー・アー・ザ・シラヌカバンド

「ウィー・アー・ザ・シラヌカバンド」と題した音楽ライブイベントが社会福祉センターで開催されました。この日は「TAKKE」と「路地裏」、そして今年35周年を迎えた「YS」の3組が出演。熱い演奏でライブを盛り上げ、来場した約160人を熱狂させました。来場した高尾渚子さんは「食べ飲みしながら、みんなで盛り上がって楽しいです」と話していました。



ライブイベントは4年ぶりに開催。今年35周年「YS」のメンバー